

さかた歴史さんぽ

歩けばまちが好きになる。
知ればもっと好きになる。

岡市政策推進課政策推進係 ☎26-5704

7

ゆきまちづき
雪待月のさんぽ



「さかた」の由来

平成17年11月1日に1市3町が合併し、新酒田市が誕生してから丸8年経ちました。

古来、「さかた」の表記には狭潟、砂潟、逆沓、逆湊、坂田、酒田といったものが見受けられますが、いったいいつ頃から「さかた」という地名が登場したのでしょうか。

地形に由来するとすれば狭潟、砂潟。東北から北陸にかけての日本海側には象潟、新潟、八郎潟など「潟」という字が付く地名や湖沼が数多くあります。「酒田市史改訂版上巻」（昭和61年酒田市）には「大昔、庄内海岸に生成した海の潟が次第に狭められて狭い潟になったものにちがいない」とあります。

「さかた」という地名が史料に現れるのは、鎌倉末期から室町初期の「義経記」や「幸若舞曲」といわれます。また15世紀中頃の「玉漱軒記」には「逆沓浦」、「続太平記」二十九巻には「酒田鮭延」の記

述があり、発音は「さかた」でも、多様な漢字表記があったことが伺えます。

戦国期から江戸初期にかけて「坂田」と「酒田」に集約されていくようですが、地名に「湊」や「津」を付けた例が散見されるのは、交易が盛んな全国有数の港町であるというプライド（誇り）と信用を意識したからこそその表現だったのでしょうか。



監修／須藤良弘氏

あんしん 消費生活

55

新たな手口にご用心！ 健康食品の送りつけ商法

健康食品の送りつけ商法で、新たな手口での被害が多数報告され、国民生活センターで注意を呼び掛けています。「以前電話で注文を受けた」と言っていますが、電話がかかってくるのは同じですが、新たな手口では、●届いた商品の箱の中にこちらの名前や商品の金額などが既に記入された現金書留の封筒が入っていた ●後日「年金が入ったらすぐ払え」と何度

も電話が来た ●連絡を求める内容の電報が届いた、などの例が報告されています。これらの事例は、宅配業者を介さずに代金を受け取れるよう、代金引換から現金書留に支払いの方法を切り替えたものと思われ、頼んでいない商品が届いたら「受け取り拒否します」と言って受け取らず、絶対に代金を支払わないでください。困った時はすぐに消費生活センターへ相談してください。

岡市消費生活センター ☎26-5761
(市役所1階まちづくり推進課内)

東北公益文科大学

キャンパスレポート 19

旧割烹小幡での「カフェの会」活動を通して

阿部 翼(3年)

カフェの会は、旧割烹小幡の蔵に仮設のカフェを開き、酒田の町なかを元気にしたい、地域の人々と交流をしたいという思いから今年の春に誕生したサークルです。

カフェは多くの方に利用され、常連の方も多くいます。「学生がおもしろいことやっているね」と声を掛けられることもあります。またカフェの利用者から新たな酒田の魅力が教えられることもしばしばあります。私たちの活動が、地域交流の場として活用されていることに喜びを感じつつ、私自身、利用者との交流を通じ、実際に対面して会話を交わすことの重要性を改めて感じました。

カフェでのコミュニケーションを通じて知った酒田の魅力を、多くの人に知ってもらえるよう、今後も活動していきたいと思えます。



岡東北公益文科大学広報担当 ☎41-1117



店舗兼工房



三代目 齋藤 満さん

市内企業の優れた技術力や製品、サービスを紹介します。



大正期から続く数少ない染物工房

当工房は、商店の暖簾のれんや神社の幟のぼり、幕、祭りの裃はんてんや手ぬぐい、風呂敷、各種旗などの染物を製作する染元です。伝統を継承し、私で三代目です。

染物というと、生地を染液に浸けるイメージがありますが、当社では「捺染なせん」という技法を用います。まず「紗しよ（細かいメッシュ状の布）」に、図柄を出力したカッティングシートを貼り付け、型を作ります。型を木綿生地に置き、染液を垂らし、スキージ（ゴムベラ）を一気にスライドさせ染色します。シートを貼った部分は、紗を染液が通過しないため染色されません。染色後は、色止め液を付けて一晩寝かせ、洗い、乾燥、仕上げ、縫製すると完成です。

木綿の風合いが生きる染物の魅力

染料で染めたものは色合いが鮮明で深みがあり、木綿の柔らかい肌触り、風合いやぬくもりを生かれます。型を使うので同じ図柄のものが作れますが、天候やスキージの力加減で仕上がり一枚一枚微妙に違ってくのも手作業ならではの魅力です。製作は全てオーダーメイド。暖簾の場合、お店の間口や雰囲気に合わせて、形、図柄、生地、染料の色をお客様と相談し決めていきます。

【企業の概要】

沿革 大正15年創業
 商号 齋藤染工場
 住所 酒田市南新町1-4-32
 ☎22-1713
 代表者 齋藤 好司
 従業員数 3人
 事業内容 印染、名入れ染物の製造販売
 ホームページ <http://www.saizome.jp/>



製作品の一例。普段何気なく見ている「暖簾」「裃」「手ぬぐい」「風呂敷」など、印染製品は身近なアイテムです。



生地の裏側までしっかりと染料を浸透させるために、先に捺染台へ染料を置いてから生地を乗せ、再度生地の上から色を染め（重ね）ます。

新刊紹介

図書館 24-2996

はじめての木工家具づくり

山上一郎／監修
大泉書店



木の風合いを生かす！アンティーク調に仕上げる！木工の基本から道具の使い方、塗装の基本、テーブル・イス・本棚・机・すき間収納ラックなどの作り方まで、写真とイラストでビジュアル解説。

中高生向け

都会のアリス

石井睦美／作 植田真／画
岩崎書店



商社勤めで海外出張の多い母、父は家で芝居の稽古ばかり。わたしは「おうちの人」と将来の相談をしたいのに…。13歳の少女が人生の選択に向き合う姿を「不思議の国のアリス」に重ねて描いた応援譚。

児童絵本

ん

長田弘／さく 山村浩二／え
講談社



「ん」は、おまけでも脇役でもありません。「ん」がなかったら、「ごほん」は「ごは」になってしまうし、「ごめん」は「ごめ」になってしまう。とっても大切なことば「ん」を主役にした、ユーモアいっぱいひらがな絵本。

◆図書館の本はインターネットでも検索できます。ホームページのアドレスは、<http://library.city.sakata.lg.jp/>